

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2024年03月19日

事業所名：音ひろば

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動種目に応じて、机、イス等を収納して適切なスペースを確保しています。	90%以上の保護者が「はい」と回答	引き続き、十分な確保に努めます。
	2 職員の適切な配置	指定基準以上の職員を配置をしています。	80%以上の保護者が「はい」と回答	職員の適正に応じ、無理なく十分な配置を行います。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	エントランスに手摺の取り付け及び、椅子を設置し、室内は全てバリアフリー化しています。	100%の保護者に評価頂いている	可能な限りバリアフリーで対応し、保護者の理解を得ています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	整理整頓や掃除・除菌を徹底し、子ども達の導線を確保した設備・備品の配置をしています。	100%の保護者に評価頂いている	引き続き徹底していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	一日の目標、週間目標、月間目標を掲げ業務改善に努めている。毎朝の朝礼、週末、月末に各目標の振り返りを行っています。		職員間でのコミュニケーションを密にし、チーム一丸となって、引き続き業務改善に取り組みます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	定期的に行っている第三者による外部評価をもとに協議し業務改善に努めています。		引き続き計画的に実施します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的な、社内研修を行っています。		引き続き計画的に実施します。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者からの聞き取りをもとに、デイサービス利用時の状況を観察、分析、考慮して計画書を作成しています。		形骸化しないよう、保護者との連携を密にとり、実効性のある取り組みを行っていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	標準化されたアセスメントツールを使用して子どもの適応行動を図っています。	90%以上の保護者が「はい」と回答	形骸化しないよう、保護者との連携を密にとり、実効性のある取り組みを行っていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者からの聞き取りをもとに、放課後等デイサービス利用時の状況を観察、分析、考慮して計画書を作成しています。		形骸化しないよう、保護者との連携を密にとり、実効性のある取り組みを行っていきます。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画書に基づき、適切な支援を実施しています。	100%の保護者に評価頂いている	継続して実施します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	5 チーム全体での活動プログラムの立案	定例会議を行い、プログラムを立案しています。		継続して実施します。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日、長期休暇に応じて、活動内容を細やかに設定して支援しています。		継続して実施します。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	デイサービスを利用する子ども達が可能な限り多種多様なプログラムに参加出来るように、プログラムの曜日固定は行っていません。		継続して実施します。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼で、その日行われる支援の内容や役割分担について必ず確認しています。また、変更等あった場合は都度確認し職員間で情報共有できるように努めています。		継続して実施します。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日行われた支援の振り返りを行い、担当職員がケース記録に記載しています。翌朝、ケース記録を参照し申し送りを共有しています。		継続して実施します。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援の内容を正しくケース記録に記載して、支援の検証・改善につなげています。		継続して実施します。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月に1度モニタリングを行い支援計画書の見直しを行っています。		継続して実施します。
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	出来る限り参加しています。		出来る限り参加する。
2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なしのため、未実施です。		該当者が発生したら実施します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なしのため、未整備です。		該当者が発生したら整備します	
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	送迎時に出来る限り子どもの細かな情報を学校と共有するように努めている。状況によっては電話で連絡をしています。		継続して実施します。	
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	卒業時に、次の事業所(学校)で出来だけ多くの情報を提供している。		継続して実施します。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	公共機関・個人の機関の研修や受講で情報共有等を行っている。		継続して実施します。	
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	トライやるウィークの受け入れをしたり、地域の子どもがボランティアとして来て、障がいのない児童と活動に参加できる機会を作っています。		継続して実施します。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	可能な限り参加しています。	第三者組織からの良い情報を取り入れて参考にしてほしい。	可能な限り参加します。	
	保護者	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時、契約時に運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っています。		継続して実施します。
		2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時に放課後等デイサービス計画について丁寧な説明を行っています。		継続して実施します。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行う事により行っている。		継続して実施します。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
護者への説明責・連携支援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートや電話により、課題について情報共有をしている。	継続して実施します。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者との関係を密にし、相談や悩み相談を行い適切な対応をとっている。	継続して実施します。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を開催予定で準備中です。	継続して実施します。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	組織内の連絡網により、速やかに苦情や問題事項を伝え、迅速に対応している。	継続して実施します。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子ども一人ひとりに合わせ保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしています。	継続して実施します。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	情報伝達のため定期的に発信しています。	継続実施
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の情報ファイルの取り扱いには十分に注意し、鍵付きの書庫に保管しています。	現状維持
非常	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルは作成し職員に講習済、保護者には、施設からのお知らせに同封し配布している。	現状維持
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に避難訓練を実施しています。	避難訓練を継続して行います。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	定期的に、社内研修を行っています。	研修だけでなく、ケーススタディを職員間で共有することにより、実効性のある取り組みを行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
時等の対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	委員会を設置し、マニュアル整備や計画的な講習会を実施している。	常に適切な対応を行なうために、日常的な情報交換を徹底し、職員全体での取り組みを実施していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	入所時に食物アレルギーの確認をし、適切に対応している。	入所時の聞き取りに加え、保護者に対して定期的な確認を行い、口頭および社内SNS等を活用し、職員間で情報を共有する仕組みを確立していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事例集を作成し、事業所内で共有をし再発防止に努めています。	口頭および社内SNS等を活用し、職員間で情報を共有する仕組みを確立。事例発生ごとに問題の本質を分析し、再発防止にチームとして取り組んでいる。